



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

児童生徒質問紙からみえるおばねっ子の実態①

今号は、小学6年生・中学3年生を対象として、4月に実施された全国学力・学習状況調査のうち、児童生徒質問紙からみえる実態について取り上げます。なお、数値は全国平均と比べたポイント数（青：全国平均と比べて良好、赤：全国平均と比べて課題）を示しています。

■基本的な生活習慣や生き方などに関わる内容について

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」は小学生+4.1、中学生+8.5と良好な結果です。一方、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」は小学生-2.5となっており、規則正しい生活習慣について改めて確認していただきたいと思えます。



全体的に、小中学生とも前向きな生活を送っているようです。「健康に過ごすために、授業で学んだことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てようとする」は小学生+9.0、中学生+8.6、「学校に行くのが楽しい」は小学生+5.4、中学生+4.5、「友達関係に満足している」は小学生+6.7、中学生+6.0となっています。さらに、「自分によいところがある」が中学生+6.9、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」が中学生+5.1となっており、自分を大切にすする心や、自分と異なる他者を受け入れる心が育っているようです。一方、「将来の夢や目標を持っている」が小学生-3.1で、学校や家庭、地域の連携による「夢・志教育」のさらなる推進が求められます。「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」も、中学生+5.3に対して小学生-3.6となっており、日常生活の中で「心が満たされた」という実感を抱いてもらうにはどうしたらよいか、同じく学校や家庭、地域で考えていく必要があるようです。



■メディア機器の活用について

小学生は「学習のためにICT機器を活用」(1時間以上+7.3、2時間以上+5.5)しています。また、「授業中のタブレット活用」が良好で(週1回以上+6.6)、



「分からないことを調べた」が+5.7、「楽しみながら学習した」が+6.4、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えた」が+8.9、「友達と協力しながら学習した」が+5.2のように効果的に活用していることがわかります。一方、「テレビゲームに費やす時間」(2時間以上+15.0、3時間以上+15.4、4時間以上+8.4)が多く、昨年度に引き続き、大きな課題です。

中学生は「テレビゲームに費やす時間」(2時間以上-15.6、3時間以上-18.2、4時間以上-10.7)や「スマホ等でのSNSや動画視聴時間」(2時間以上-20.6、3時間以上-21.7、4時間以上-14.3)が少なく、自分を律して生活していることがわかります。「新聞を読む頻度」(週1~3回以上+10.3)も多く、一学級一新聞を有効に活用していただいているようです。一方、「授業中のタブレット活用」(週1回以上-18.3、週3回以上-45.7、ほぼ毎日-29.0)は少なく、個に応じた学習や仲間と協力する学習を進める上で課題と捉えています。タブレットを使って「自分の考えや意見を分かりやすく伝える」学習(+9.5)に手応えを感じている生徒が多く、推進のヒントになりそうです。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330